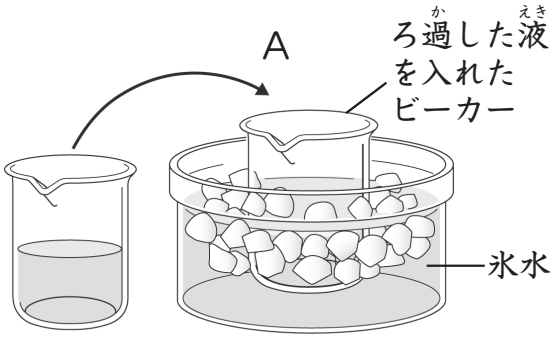
月　日

水の量や温度によるちがい（５）

名前

1 右の図Aは、ろ過した液からとけているものをとり出す方法を表しています。図Bのグラフを参考にして、次の問いに答えましょう。



(1) 図Aの方法は、どのようなものを取り出すのに適していますか。次の①、②から選び、番号を書きましょう。

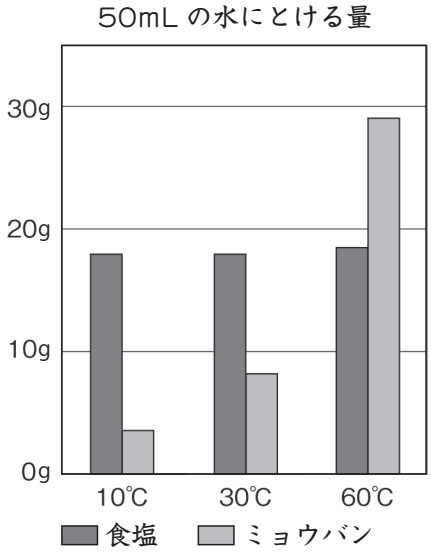
① 水の量によってとける量が変わるもの
② 水の温度によってとける量が変わるもの

（　②　）

(2) 図Aの方法で、食塩とミョウバンのそれぞれの水よう液から食塩やミョウバンがとり出せますか。とり出せるものには○、出せないものには × をつけましょう。

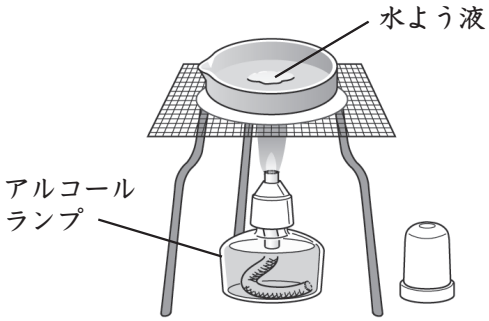
（ × ）食塩　　（ ○ ）ミョウバン

B



2 右の図のような方法で、食塩とミョウバンのそれぞれの水よう液から食塩やミョウバンがとり出せますか。とり出せるものには○、出せないものには × をつけましょう。

（ ○ ）食塩　　（ ○ ）ミョウバン



3 とかしたものをとり出す方法について、次の文の（　　）にあてはまる言葉を下の□から選び、書き入れましょう。

食塩もミョウバンも水を㋐（じょう発）させると、とけていたものをとり出せる。ミョウバンは水の温度を㋑（下げる）と、とけていたものをとり出せるが、食塩は水の温度によってとける量に㋒（ほとんど差がない）ために、温度を下げてもとけていたものをとり出せない。

上げる	下げる	ほとんど差がない	差がある	じょう発

＊使わない言葉もあります。

© ちびむすドリル　この学習プリントは、ちびむすドリル 検索 で無料ダウンロードできます。